



# おかだっ子通信



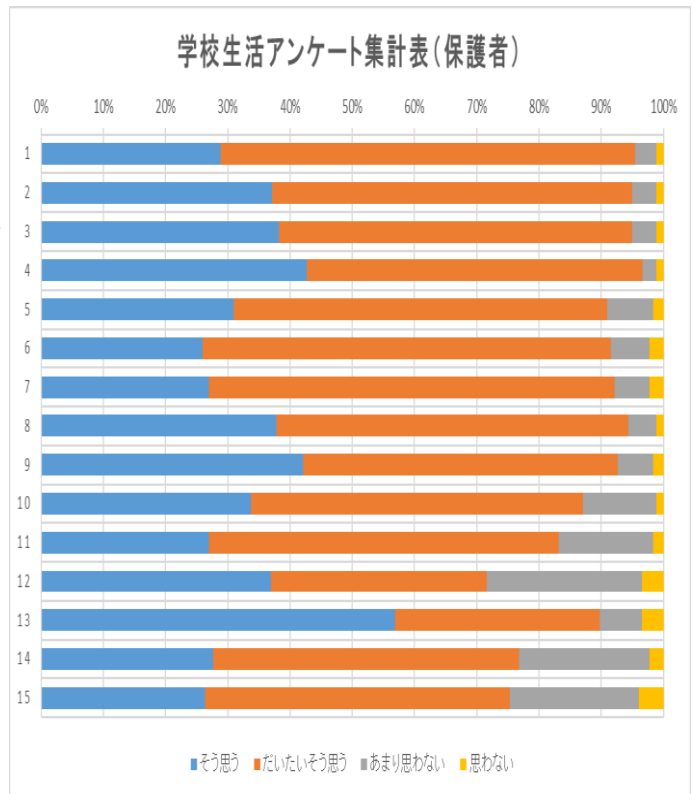
進んで学び考える子 思いやりのある子 あいさつする子

令和5年2月17日 No.25

お忙しい中、学校評価アンケート(保護者アンケート)にご協力いただきありがとうございました。集計した結果をご報告いたします。今年度もオンラインでの回答をお願いしておりました。回答数は、178人でした。昨年度より下回りましたが、保護者の方の学校への関心はかなり高いと思います。

- ・ 回答率は88.6%(児童数201)で、昨年度より10.1%下回りました。
- ・ 項目別の集計結果は右のグラフのようになりました。

- 1 学校は、教育方針や活動内容について分かりやすく知らせている。
- 2 学校は、子どものことについての連絡や相談に適切に応じている。
- 3 教師は、分かりやすい授業を心がけている。
- 4 学校は、地域・家庭と連携をとり、協力して学校づくりを進めている。
- 5 保護者・地域にとって、参観日、学校行事は参加しやすいように工夫されている。
- 6 学校は子どもが学習しやすい施設、設備、環境が整っている。
- 7 学校は危険箇所や安全への配慮をしている。
- 8 教師は、子どもの間違っ行動に対してきちんと指導している。
- 9 教師は、子どもを認め、理解している。
- 10 子どもは、自信をもって学校生活を送っている。
- 11 子どもは、授業の内容が分かると言っている。
- 12 子どもは、図書の本を借りて、進んで読んでいる。
- 13 子どもは、スポーツフェスティバルや学習発表会などの学校行事を楽しみにしている。
- 14 子どもは家庭での学習習慣が身についている。
- 15 子どもは、自分から進んであいさつや返事ができている。

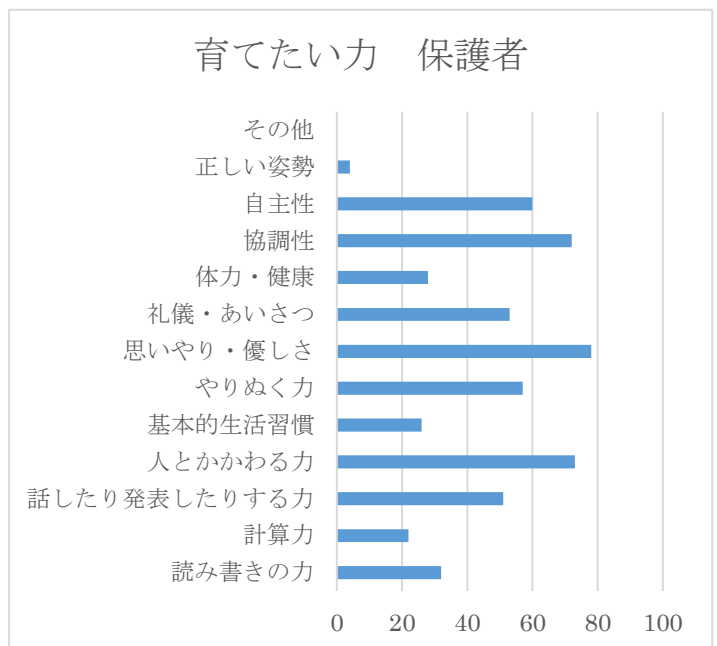


育てたい力については、右のグラフのようになりました。

- 第1位：思いやり・優しさ
- 第2位：人とかかわる力
- 第3位：協調性
- 第4位：自主性

昨年度から1位と2位、3位と4位が入れ替わりました。コロナ禍も落ち着き、人と接することが少しずつ増えてきているからでしょう。

昨年より引き続き、相手ことを優しく思いやり、学級の友達、縦割り班の仲間とかかわる経験を積み重ねて、力をつけていけるように、学校と家庭で連携をとって取り組んでいけたらと思います。





# おかだっ子通信



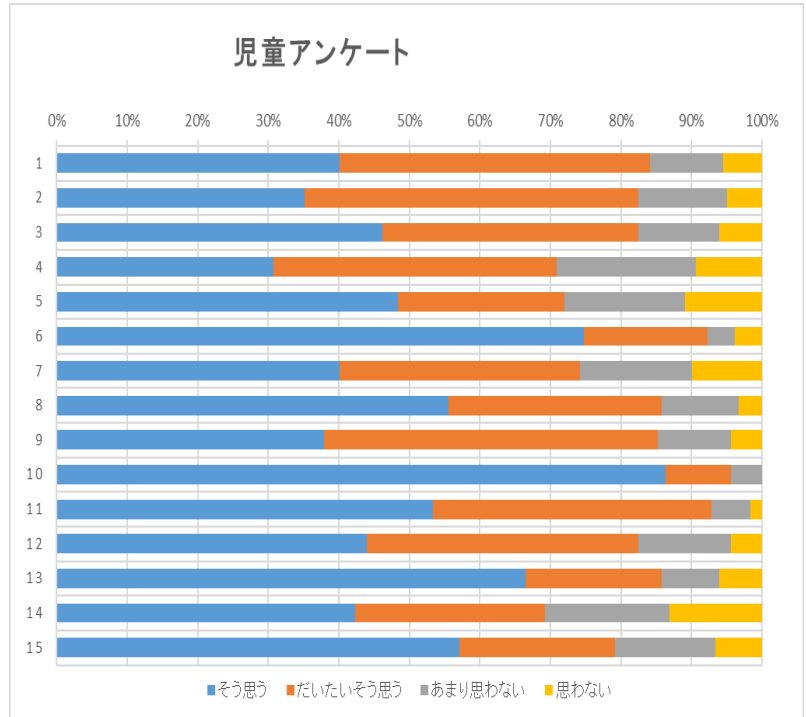
進んで学び考える子 思いやりのある子 あいさつする子

令和5年2月17日 No.26

こちらは、学校評価アンケート（児童アンケート）の結果報告です。

- 項目別の集計結果は右のグラフのようになりました。

- 勉強は楽しい。
- 勉強が分かる。
- 学習した漢字をだいたい書ける。
- 計算が速く正しくできる。
- 発表を1日1回よりもたくさんしている。
- 宿題をいつもきちんとしている。
- 明るいあいさつをしている。
- くつばこやトイレのはきものをそろえている。
- 週目標などの決まりや約束を守っている。
- いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う。
- 友達のことを考えて、やさしい言葉を使っている。
- グループや友達との話し合いがじょうずにできる。
- 運動が上手になった。
- 困ったときには、先生に相談している。
- おうちの人と、よく学校の話をする。



## 〇●〇 アンケートの結果から見えてくる本校児童の特色と課題 〇●〇

今年度も、10 いじめは…、11 友達のこと…、6 宿題を…、の項目が上位に来ています。『まじめで、友達を大切にする子どもたち』という岡田っ子に変わりはありません。今年度は、勉強は楽しい、2 勉強が分かる、よりも、13 運動が上手に…、が上位になっています。新型コロナウイルス感染症対策で、いろいろと制限のある中、体を動かす楽しさを思い出し、運動して良い技術を身に付けようという気持ちが高まってきたのだと思います。

昨年度と比較すると、7 明るいあいさつ…、14 困ったときには…、の肯定的な回答（そう思う、だいたいそう思う）の割合が減っています。昨年度、良くなったとお知らせした項目が減っていて、一昨年度の割合に戻ってしまったと残念に思っています。あいさつをする声はだんだん大きくなっているのですが、声が出せる児童と出せない児童の二極化しているようです。「普段声を出していないと、危険に遭遇した時に声が出ない。」ということを知りました。あいさつを大きな声ですることは、非常事態の時にも役に立ちます。今後も学校、家庭と連携して、声を出せるようにしていきたいです。

保護者のアンケートの中で、12 子どもは、図書…、14 子どもは家庭での… の項目が、昨年度から引き続き低い割合になっていますが、少しずつ増えています。図書委員会、図書館司書がいろいろな取組をして、読書の興味関心を高めようとしています。このまま増え続けてくれたらなと思います。「〇時から〇時は宿題・学習タイム」と具体的な時間を設定して守るようになるのが効果的です。試していただいている方もいるようです。学校の時間割の延長で窮屈に思えますが、生活習慣を整えるためには効果があります。学校と家庭とが連携して、声掛け・応援・指導を続けていきたいと思えます。また、記述していただいた内容は教職員で共有し、真摯に受け止め、改善すべきところは改善していきたいと思えます。たくさんの励ましの言葉をいただき、ありがとうございました。